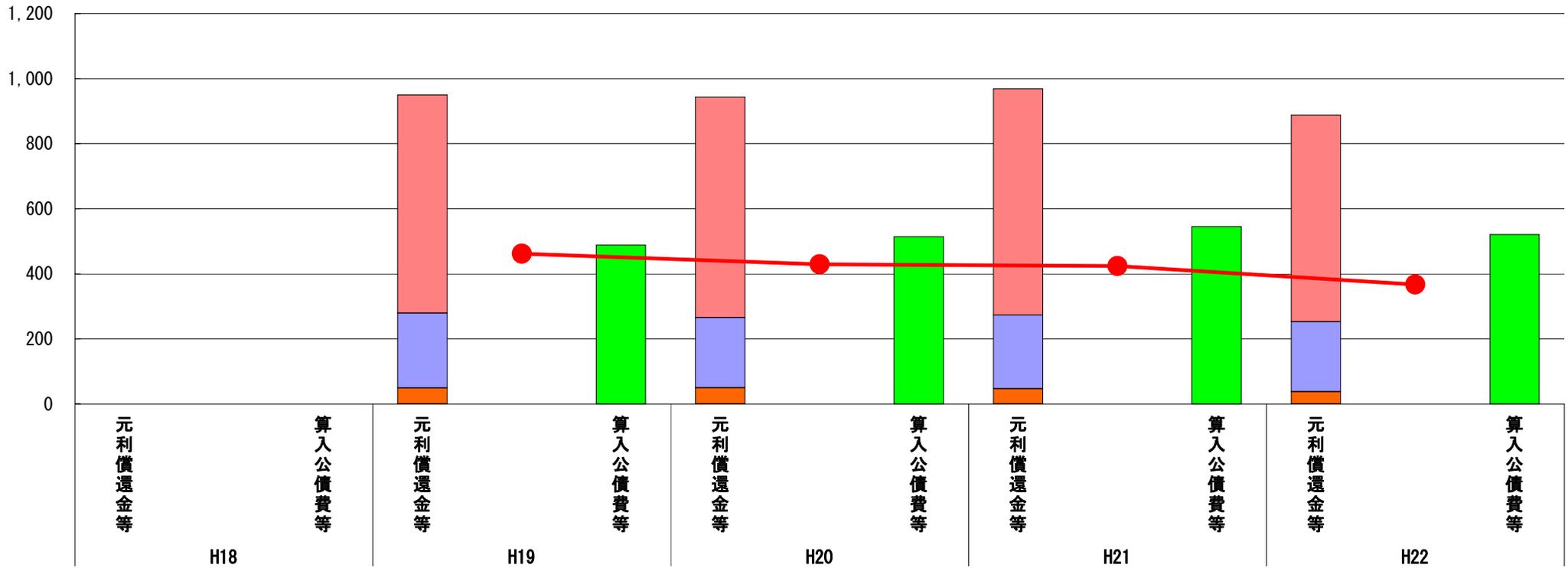


# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

鳥取県三朝町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等 (A)	元利償還金	-	671	677	696	635	
	積立不足額考慮算定額	-	-	-	-	-	
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-	
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	230	216	226	215	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	49	50	47	38	
	債務負担行為に基づく支出額	-	-	-	-	-	
	一時借入金利子	-	-	-	0	0	
算入公債費等 (B)	算入公債費等	-	488	514	545	521	
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	-	462	429	424	367	

## 分析欄

平成22年年度の実質公債費比率は17.1% (3カ年平均) で、年々減少傾向にあります。要因として元利償還金等のうち、一般会計の元利償還金や公営企業債の元利償還金に対する繰入金も償還のピークを迎えたことにより年々減額となってきており、算入公債費等は元利償還額に合わせて減少となる見込みで、実質公債比率の分子も年々減少になる見込みです。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。